

採択事例

下記は採択結果の出た方からの、アンケートへのご回答となります。アンケートということで、**実際の申請内容そのままではありません**。例えば、経費明細をまとめて記述しておられる例がありますが、実際の申請では個々の明細を出されていたものと推測します。ここでは、採択された申請の概要として、今後申請される方のヒントとなるよう紹介させていただきます。なお、後続の申請者への情報提供のため、快くアンケートに応じていただいた方々に心より感謝いたします。

(補助形態 A-① 補助上限 20 万以下 標準的な取組向、A-② 補助上限 150 万以下 より積極的な取組向)

ケース 1

分野 = 美術

申請した補助形態 = A-②

申請事業の名称 = 感染予防に即したパフォーマンスと撮影、展示手法の調査と実践

申請事業の目的と活動内容 =

感染拡大予防対策に即したワークショップやパフォーマンスの在り方を検討・実践し、その成果物や記録映像を携えたうえで観客数を制限した展覧会の運営マニュアルを作成する。それに基づきながら 9 月から 10 月にかけて〇〇〇〇〇で展覧会を開催し、並行してオンラインでの 360°VR ギャラリーも準備する。会議通話アプリを利用した会期中のギャラリートークや展覧会の PR 動画・チラシを拡散することによって、自身の活動継続・再開とともに国内外の観客の回復・開拓を目的とする。

申請した経費の説明と金額 =

動画字幕の翻訳を依頼：82,000

制作・撮影時の感染予防対策スタッフ謝金：67,200

機材リース：340,700

美術製作に係る材料代：97,000

ワークショップや編集作業で使用する消耗品：(小計) 189,000

マスク、消毒液等：32,800

輸送費：40,800

ワークショップ、展覧会 PR のためのチラシ・ポスター制作印刷費：450,000

撮影費：50,000

音響編集費：50,000

パフォーマンス出演料：100,000

360°VR ギャラリー開設費：100,000

ソーシャルディスタンスに即した舞台美術設営費：400,000

計 1,999,500

結果詳細 = 申請と同じ

ケース 2

分野 = 美術

申請した補助形態 = A-②

申請事業の名称 = コロナ時代の作品発表の更改と彫刻活動の回復

申請事業の目的と活動内容 =

本年 8 月に天王洲で行う展覧会の作品を主たる題材とし、展覧会に向けてに日常記録撮影してきた画像や短い動画に加えて、本年 7 月終わりから 8 月初めの展覧会の搬入展示ドキュメントや展示作品の動画を撮影し、それらの動画などを編集し YouTube、facebook などインターネットで広く公開する。また、静止画像も撮影してインターネットで公開するほか小冊子を作り、広く配布できるようにする。それらのコンテンツをホームページに加えるとともに日本語のページを作るなど大幅に強化し作品の注文等や展覧会の依頼などの問合せに対応できるようにする。

申請した経費の説明と金額 =

旅費 - ETC 料金 34,620

借損料 - レンタカー,燃料費 65,380

雑役務費 - 外注,撮影編集 260,000

雑役務費 - 外注,HP 大幅更新 120,000

雑役務費 - 外注,印刷 210,000

結果詳細 = 申請と同じ

ケース 3

分野 = 美術

申請した補助形態 = A-②

申請事業の名称 = コロナ収束後に向けた絵画作品制作・個展開催

申請事業の目的と活動内容 =

コロナ禍のある程度の収束が予想される 10 月中に、さらなる質の向上を目指し絵画作品を制作するとともに、「新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」を遵守した上で S 市内のギャラリーで開催予定だった個展の再開催を実施する。また作品イメージ・制作風景を含む個展の PR 動画を制作し事業の周知拡散を図る。企画の実現性を担保するため、感染が万が一再度拡まってきた際には無観客で WEB 上で絵画作品の鑑賞ができるページ等を作成する。

申請した経費の説明と金額 =

会場費

PR 動画の制作費 配信イベント 諸謝金

展示チラシ作成費

図録作成費

画材費 配信機材費

合計 521,700 円

結果詳細 = 申請と同じ

ケース 4

分野 = 写真

申請した補助形態 = A-①

申請事業の名称 = 個展「〇〇〇〇〇」(フランス XXXXX)

申請事業の目的と活動内容 = 日本人である私が写真技法を用いて海外へ日本の美を紹介する事業です。

申請した経費の説明と金額 =

交通費 47,720 円 スタジオレンタル代 26 万 3,780 円

モデルへの謝礼 25,000 円 雑費 50,000 円

通信運送費 8,135 円 諸謝金 5,280 円

合計 39 万 9,915 円

結果詳細 = 20 万円

ケース 5

分野 = 写真

申請した補助形態 = A-②

申請事業の名称 = 展示の再開と新規顧客の開拓

申請事業の目的と活動内容 =

写真家として活動を継続していく為に、自粛期間により延期になった展覧会を 6 月〇日から 8 月〇日の日程で〇〇ギャラリーにて、感染症対策を施したうえで開催。来場者の減少や、コレクターたちの購買意欲の低下に備え、新規顧客を求めて主に海外へ向けて作品をまとめた図録を作成し、無料配布して PR 活動。その上で、展覧会日程終了後もオンライン上で展覧会を見れるようにして、作品を購入していただけるように促す。その為に自身の HP のリニューアル更新を行う。

申請した経費の説明と金額 =

制作活動を紹介するウェブサイトの制作、更新...200,000 円

制作した作品をまとめた図録の作成...400,000 円

主に海外のマーケットへの新規顧客開拓 ...369,250 円

感染症対策費...18,000 円

結果詳細 = 申請と同じ。

ケース 6

分野 = 写真

申請した補助形態 = A-①

申請事業の名称 = with コロナにおける写真表現の探求

申請事業の目的と活動内容 =

新型コロナウイルス感染症の流行下において、従来のホワイトキューブや建築空間における展示、zine といった紙媒体での展示、PC やスマホといったデバイスの画面上で写真を見る・見せる体験のあり方を探求する。

大判フィルムを用いたアナログな制作活動を継続し、イメージを定着させる暗室における技法向上、画面の中での鑑賞においても写真のマチエールを露わにする方法の探求、また展示形態による視覚体験の特性について考察することを計画している。

申請した経費の説明と金額 =

ウェブサイトの内容を拡充 (¥18,000) EPSON 製のプリンターを導入 (¥98,970) 展覧会告知の DM を作成 (¥15,000) 暗室を借りる (¥45,000) 大容量のメモリーカードを導入 (¥18,500) SSD を購入 (¥25,000) フィルム作品のスキャニング方法論のリサーチ (¥30,000) 消毒エタノールの使用をお願いするサイン・指針を作成 (¥2,000) マスク、消毒用エタノールを用意する。 (¥20,000)

結果詳細 = 申請に同じ

ケース 7

分野 = 美術

申請した補助形態 = A-①

申請事業の名称 = 動画配信を利用した新しいスタイルの展覧会の構築

申請事業の目的と活動内容 =

2021 年春にイタリア人アーティスト〇〇〇〇氏と国内 A 地域、B 地域での展覧会とワークショップを予定しており会場も抑えていますが申請時現在、コロナウイルス終息が見えず、国外への移動が難しい中、開催できるかどうか不透明な状況です。実現できない場合は、動画配信を利用した新しい展覧会の形を確立したいと考えております。また年内にコロナ禍が落ち着き展覧会が開催出来る場合は、この事業で制作した動画及びカタログは展覧会の PR として顧客の新規開拓に使用したい。

申請した経費の説明と金額 =

★作品紹介動画の作成

・消耗品費 99,999 円

★カタログ作成・翻訳・発送

・雑役務費 90,000 円

・翻訳謝礼 22,800 円

・通信運搬費 10,000 円

★動画配信用サイト制作

- ・雑務費 2,850 円
- ・京都への出張費 37,540 円

結果詳細 =

175,000 円交付決定

ケース 8

申請から結果通知までの日数=41 日

分野 = 美術

申請した補助形態 = A-①

申請日 = 7 月 25 日

申請事業の名称 = 美術の展覧会の会場を遊覧できる映像の技術の向上と実践

申請事業の目的と活動内容 =

美術の展覧会会場の映像制作に関わる技術・知識の向上のための学習を行い、①感染拡大予防対策を行いつつ、効果的な手法としての展覧会会場の映像制作の技術を獲得すること。②実際の展覧会でその技術を活用することを目的とする。活動内容はスタビライザーや 360 度カメラを使用した、人の動きに近い映像や見回すことのできる映像の技術的発展を目指した実験。オンラインによるリアルタイムの応答を交えた展覧会遊覧映像の配信。実際の展覧会での会場映像の撮影の実践を行い、最終的にその手法を資料としてまとめる。

申請した経費の説明と金額 =

実際に展覧会の会場撮影を前提として会場を遊覧する映像の制作をするための撮影機材であるスタビライザー (7.7 万円)、360 度カメラ (6.6 万円) とそのアクセサリ類 (1400 円)、感染拡大予防としてのオンラインによるリアルタイムの応答を交えた展覧会の会場の遊覧をする映像配信のマニュアル作成のための配信実験のための機材として HDMI キャプチャボード (2.8 万円) とケーブル類(2 千円)、感染症対策の消耗品 (1 万円) 購入。

採択の結果通知の日と結果 = 9 月 4 日 採択

結果詳細 = 申請に同じ

通信欄 = 統括団体について記入漏れがあった為、8 月 9 日にメールにて、再提出を求められました。連絡を受けてすぐに再提出を行いました。

ケース 9

分野 = 美術

申請した補助形態 = A-①

申請事業の名称 = コロナ禍における市民とフェスティバルとの媒介方法の調査と試行

申請事業の目的と活動内容 =

今年度、または今後行われるフェスティバルやアートプロジェクトの遂行にあたり、市民参加が必要な

まちなかでの作品制作や、市民ボランティアを必要とする会場運営の方法について探求するため、コロナ禍で行われるフェスティバルの運営方法のサーチと、同業者へのヒアリングを行い、実際にどのような手法が考えられるのか、その媒介のためのツール作成と試行、および市民ボランティア等の運営マニュアルの作成を行う。

申請した経費の説明と金額 =

経費内容

リサーチにかかる交通費（地域 A20,000 円、地域 B18,000 円）、宿泊費（地域 A 10,900 円、地域 B 9,800 円）、ヒアリング謝金（12,000×2 人）、消毒などの消耗品費（10,000 円）
研修講師謝金（講演 2h15,800 円、実技 4h20,400 円）、消耗品費（研修にかかる費用 20,000 円、ツール作成 20,000 円、消毒設備 10,000 円）、通信運送費（5,000 円）マニュアル作成にかかる雑役務費（30,000 円）

補助対象経費合計 215,900 円

補助金申請額 142,000 円

結果詳細 = 申請に同じ

ケース 10

分野 = 美術

申請した補助形態 = A-①

申請事業の名称 = 自粛のために中止となった〇〇20 周年記念全国巡回展の再開催に向けた準備活動。

申請事業の目的と活動内容 =

2020 年 4 月から 9 月にかけて、XX 名で東京、名古屋、大阪、福岡、盛岡の全国 5 会場で行う予定であったグループ展がコロナウィルスの感染防止のためにすべて来年に延期となった。このため、展覧会の再開催にむけて再びチラシ制作や HP 上での継続的な告知を行い、参加者、スタッフ、会場側と調整を行う。

申請した経費の説明と金額 =

本年 9 月中には来年開催の日程を確定、10 月にはチラシを印刷する。雑役務費 11 万円（チラシ印刷費 9 万円、デザイン料 2 万円）。また、本年 3 月からの会議を今後もコロナウィルス感染防止をふまえた展覧会再開にむけて継続する。雑役務費 6 万円（制作担当者 5 万、会計係 1 万）、交通費 2,4 万（スタッフ 4 名分@8000 円×3 回）、消耗品費 0.6 万（作品保管用段ボール代）

感染防止のための消毒液、マスク等購入費用 5 千円。

結果詳細 = 申請に同じ

ケース 11

分野 = 美術

申請した補助形態 = A-①

申請事業の名称 = プロジェクト継続及びコロナ後の活動に向けた準備

申請事業の目的と活動内容 =

2020年一年間を通して継続する予定だったプロジェクト XXXXXX をオンライン上で継続(a)、及び自粛後イベント開催のためのリサーチや準備(b)を行う。内容としては、(a)は Twitter やホームページの更新、オンライン会議の形式で意見交換等を、(b)は当初より計画していたイベントやワークショップをコロナ後に行うためのリサーチや準備を行う。また、コロナ後の活動の PR のために、これまでの活動の記録動画やこれまでリサーチした内容をホームページにて公開する。

申請した経費の説明と金額 =

- ・活動のための機材購入。これまでの記録映像の編集やリサーチ内容をまとめウェブサイト更新のための手伝いへの謝礼。消耗品費:10,000 円 諸謝金:31,500 円
- ・リサーチのため大阪への旅費と資料の購入。イベント時の運営補助・記録撮影助手への謝礼として使用する。 消耗品費:50,000 円 旅費:30,000 円 諸謝金:47,250 円
- ・オンラインイベントのための機材の購入。配信等の際の撮影助手への謝礼金として。 消耗品費:44,000 円 諸謝金:63,000 円

結果詳細 = 申請と同じ

ケース 12

分野 = 美術

申請した補助形態 = A-①

申請事業の名称 = コロナ禍における技術向上

申請事業の目的と活動内容 =

自粛は終了してもまだコロナ禍にある現在、オンラインによる作品公開の手段を取らざるを得ない。そのためウェブサイトを作成し配信していく。

また、動画配信もするため、動画制作の技術の向上を目指し、作品の公開に適した最良の方法を探り、その技術を向上させ PR していく。

申請した経費の説明と金額 =

美術家の制作活動を紹介するウェブサイトの制作、更新
(活動全体を PR していくサイトを制作し更新していく)

計 372,358 円

消耗品費：168,858 円（内訳は以下）

オンライン動画配信：ビデオカメラ・ソニーVlog 用カメラ 89891 円、シューティンググリップ 12094 円、LaCie 外付け HDD8TB 66873 円

雑役務費：98,500 円（内訳は以下）

ウェブサイトの制作：デザイン料 85000 円&配信にかかる費用 13500 円

ーICT 活動ー

諸謝金:10,000 円 雑役務費:25,000 円

研修会に参加する費用：1 回 50000 円 消耗品費 20,000 円

結果詳細 = 採決された金額：200,000 円

ケース 13

分野 = 美術

申請した補助形態 = A-①

申請事業の名称 = 自粛中の新たな活動展開と自粛後の活動展開

申請事業の目的と活動内容 =

自粛中の新たな活動展開としてライブドローイングの配信と自粛終了後の活動に備え、さらなる技術向上と PR の為の動画配信と冊子掲載。

自身を含めた芸術の素晴らしさを多数の人に知って貰うため、普段見ることができない絵の制作過程や技法等を撮影した動画を WEB で公表・配信し、

新たな顧客の開拓をしつつ、自粛終了後の個展やワークショップに備え、アート冊子を使った PR 活動を行い顧客・参加者の維持と回復を目指す。ワークショップなどのコロナウイルス感染拡大予防対策を行う。

申請した経費の説明と金額 =

上記活動に伴う各機材や道具の購入費として、動画配信用カメラ、

補助対象経費合計 259,900 円を申請いたしました。

結果詳細 = 申請通り。

ケース 14

分野 = 美術

申請した補助形態 = A-①

申請事業の名称 = 制作活動・作品のプレゼンテーション

申請事業の目的と活動内容 =

制作活動・作品のプレゼンテーションの新たな方法を模索するため、オンライン鑑賞と記録冊子に重点をおいた展覧会に参加する。それらの公開に合わせて、自身のウェブサイトのリニューアルをおこない、自身の制作活動・作品のプレゼンテーションや広報を強化する。

展覧会の会場は、今年〇月に始動した〇〇エリア内のアートスペースを活用する。自身の作品発表を通して、地域の新たな文化活動拠点の魅力発信に寄与することを目指す。展覧会に向けてのリサーチ・展

示作業では補助員含め感染拡大防止対策を徹底する。

申請した経費の説明と金額 =

・ウェブサイトリニューアル・ゲストとの対談・記録資料の作成

自身のウェブサイトリニューアルのための資料翻訳費 3 万円

ウェブ構築作業費 8 万円

展覧会のオンライン鑑賞にあたって、実際の鑑賞を代弁してもらえるようゲストと対談を行ない、その資料を公開する。

ゲストへの謝金 2 万円、交通費実費。資料の編集 3 万円。

・制作にあたってのリサーチ・会場設営・撤収

会場設営補助員（1 名×2 日）として 2 万円

会場周辺のリサーチ・設営の交通費（自宅～会場 5 往復）7300 円

作品材料費 5 万円

搬入・搬出運搬費（自宅～会場、往復）1 万 2 千円

展示用額 5 万円

・感染対策物品購入費 1 万円

結果詳細 = 申請と同じ

ケース 15

分野 = 美術

申請した補助形態 = A-①

申請事業の名称 = 次回展示に向けて絵画作品を制作する。

申請事業の目的と活動内容 =

9 月に開催予定の個展に向けた絵画作品の制作と、ホームページや EC サイト・SNS 等を活用した新型コロナウイルス感染拡大禍においての作品鑑賞と作品販売方法の確立に努める。

申請した経費の説明と金額 =

作品制作のため画材を購入する（絵具 30 点・ロールキャン 1 点・木枠 5 点等、計 91,868 円）。搬出入費・作品梱包材（計 45,200 円）。作品資料の購入（書籍等、計 40,000 円）。会場までの交通費（岡山-東京往復 3,3180 円）携帯端末（iPhone11）を購入し、展示の打ち合わせをオンラインで行う。また、SNS やホームページ等を活用し積極的に展覧会の様子や作品を発表する（87,780 円）。新型コロナウイルス感染拡大予防の為、マスク（5 点 10,000 円）・消毒液（1 点 3,000 円）を購入する。

結果詳細 =

ケース 16

分野 = 美術

申請した補助形態 = A-①

申請事業の名称 = コロナ後に向けた個展の実施とイベント参加、及びオンラインによる活動展開。

申請事業の目的と活動内容 =

自粛終了後の7月の個展、9月のイベント参加においてユーザーの回復を試み、直接対面対策として新たにH・Pを開設しオンライン販売とワークショップを実施する。

申請した経費の説明と金額 =

個展開催とイベントの告知

チラシの制作(5000円)と送付代(5000円)消耗品費:5,000円

通信運搬費:5,000円

個展の開催の施設利用料(21600円)イベント参加費(36000)

ワークショップ施設利用料(5000円)単純労務謝金(58800円)オンラインでの作品販売とワークショップを行うため。

パソコン(8万円)とパソコン周辺機器を購入する(3万円)

結果詳細 = 申請と同じ。

ケース 17

分野 = 美術

申請した補助形態 = A-①

申請事業の名称 = コロナ以降を見据えた活動の継続とキャリアの向上

申請事業の目的と活動内容 =

コロナ禍において、従来の方法(ある一定の期間、不特定多数の鑑賞者が訪れることを前提とした展覧会を開催し、そこでの作品発表・販売を通して作家活動を行う)のみでの美術活動の継続は困難となった。本事業では自身のこれまでの活動を web 上のポートフォリオサイトにまとめることと、キャリア向上のためのリサーチ(展示○○○○○○実見調査)・絵画公募展出品を目的として申請する。ポートフォリオサイトはバイリンガル表記で作成し、全世界的に向けた作品公開をする。

申請した経費の説明と金額 =

自身の作家活動をまとめたポートフォリオサイト(HP)を更新・整備するため、会社○○○○○に上記内容を依頼する。(100,000円を計上)活動をまとめるための動画撮影と編集を行うため、機材を購入する。(消耗品費 75,000円を計上) 展示○○○○○○を訪ねる(旅費 17,000円、資料費 3000円を計上)公募○○○○展に出品する(制作費 54,000円運送費 19,000円出品料 7000円を計上)新作の制作素材を購入(30,000円計上)

補助対象経費合計：305,000円

補助金申請：200,000円

結果詳細 = 申請と同じ

ケース 18

申請から結果通知までの日数 = 30 日

分野 = 美術

申請した補助形態 = A-①

申請事業の名称 = 継続した技能向上、及び、オンライン配信を併用した個展の開催

申請事業の目的と活動内容 =

絵画指導はコロナ禍でも受けていたが今後も継続するとともに、毎年秋に開催している個展を 10 月の 3 日間という短い期間で実施する。また、個展の会場風景や作品はオンラインでも配信し、会場における密を出来るかぎり避ける試みを行う。

申請した経費の説明と金額 =

公演、展示のチラシの作成、配布 :

雑役務費:20,000 円、雑役務費:10,000 円、通信運搬費:15,000 円、雑役務費:5,000 円

技芸の研鑽のための自主稽古 :

10 月個展開催、及び、そのオンライン配信 :

諸謝金:200,000 円、借損料:30,000 円、雑役務費:20,000 円、消耗品費:5,000 円、消耗品費:60,000 円、雑役務費:30,000 円

新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドラインに即した取組支援 :

消耗品費:5,000 円

補助対象経費合計 400,000 円

補助金申請額 200,000 円

結果詳細 = 申請に同じ

ケース 19

分野 = 美術

申請した補助形態 = A-①

申請事業の名称 = 美術作家活動の継続

申請事業の目的と活動内容 =

現代美術アーティストとしての活動を継続するために、コロナ禍において難しくなっている対面での鑑賞者とのコミュニケーションの代替となるメディアの試行と環境整備を行う。具体的には[1]印刷物上での表現と[2]ウェブサイト上での表現である。1. 20XX 年以降、年 1 回以上開催していた個展の代替として冊子を発行する。2. これまでのアーティスト活動を纏めたウェブサイトを作成し、活動の情報発信の拠点としても活用する。また、相互通信技術を用いたワークショップなども開催する。

申請した経費の説明と金額 =

作品発表と活動紹介、アーカイブのためのウェブサイトの制作運営費。チラシ、アーティストブック等印刷物の制作費。アーティストブック掲載テキスト翻訳謝金(和文英訳 1600 ワード)。展覧会設営の材料購入。チラシ、アーティストブックの郵送費。雑役務費:230,000 円・諸謝金:45,600 円・消耗品費:40,000 円・通信運搬費:29,600 円

インターネット相互通信を利用した作品の発表やワークショップのための適切な PC 機器などの購入。
消耗品費:99,999 円

結果詳細 = 申請額 20 万円。申請に同じ。

ケース 20

申請から結果通知までの日数 = 39 日

分野 = 美術

申請した補助形態 = ...

申請事業の名称 = コロナ後に向けた技能向上、ギャラリー主催でのオンライントークイベント、Web サイトを用いた活動を紹介する動画配信

申請事業の目的と活動内容 =

コロナウィルス感染対策に配慮しながら 10 月に開催されるギャラリーでの展示において、ゲストを招いたオンライントークイベントを開催する。さらなる技能向上のための、デジタル技術を用いた実験的な制作を行う。また、作家 Web サイトに作家の活動を紹介する動画を掲載する。

申請した経費の説明と金額 =

オンライントークイベントのゲストに支払う謝礼(7 千 9 百円)、展示設営の為の交通費(2 万 8 千円)、作品輸送費(3 万円)、展覧会の記録を撮影、記録するための SD カード、ハードディスク等(5 万円)を購入する。液晶パネルの分解・自作するインスタレーション作品のための、電子部品(5 万円)、映像機器 1(9 万 5 千円)、映像機器 2(5 万 5 千円)を購入する。現地調達、技術調査のための交通費(1 万円)。ギャラリー入り口消毒液設置のために(1 万 5 千円)、配布用マスク(5 千円)を購入する。

補助対象経費合計

345,900 円、補助金申請額 200,000 円

結果詳細 = 申請に同じ

ケース 21

分野 = 美術

申請した補助形態 = A-①

申請事業の名称 = 再開期に向けての表現研究と作品制作

申請事業の目的と活動内容 =

コロナ以後の変化する関係性をテーマに新たな素材を用い試作し、彫刻表現を深化させる。

試作をもとに彫刻作品を制作し、それを 10 月に予定しているグループ展に出品する。

事業終了後も研究・制作を継続し、京都市内での展覧会などに発展させる。

またこれまでの作品を記録したポートフォリオを製作して再開期の活動に活用する。

申請した経費の説明と金額 =

これまでの鑑賞者の接触が必要な表現から変化のために彫刻表現を研究する。3D造形ソフト二種
48500 3Dプリンターフィラメント 3000×3 9000 ペンタブ 6000 インパクトドライバー 47000
ロータリーバンドソー 97000

経費合計 312,780 円

助成額 200,000 円

結果詳細 = 申請に同じ

ケース 22

分野 = 美術

申請した補助形態 = A-①

申請事業の名称 =

コロナ収束後の個展開催に向けたリサーチと作品の制作および感染対策

申請事業の目的と活動内容 =

10月に予定している個展の発表に備え、作品の制作がコロナ自粛によりキャンセルを余儀なくされてしまった。その活動の再開し展覧会を行う。PR活動、印刷物の制作に加えてオンラインでのトークイベント配信、また、感染防止ガイドラインに沿った会場の運用を行う。

申請した経費の説明と金額 =

公演、展示のチラシの作成、配布

展示のギャラリートークや講演会の開催

美術家の制作活動を紹介するウェブサイトの制作、更新など

国内外の観客、参加者等の回復・開拓：補助対象経費

消耗品費:25,000 円

諸謝金:7,900 円

通信運搬費:10,000 円

活動の継続・再開のための公演・制作方法の検討・準備・実施：補助対象経費

諸謝金:126,000 円

旅費:33,640 円

通信運搬費:24,000 円

活動の継続・再開のための公演・制作方法の検討・準備・実施 ICT活動：補助対象経費

雑役務費:50,000 円

結果詳細 = 申請に同じ

ケース 23

分野 = 美術

申請した補助形態 = A-①

申請事業の名称 = コロナ禍で減少した生徒の獲得と新規顧客開拓のため個展開催

申請事業の目的と活動内容 =

新型コロナウイルス感染症拡大による自粛要請のため運営する絵画教室を約二か月休講し、その影響により生徒が減少した。教室の安定的な継続のために作品展を開きワークショップを行い新規の生徒獲得に努める。告知、集客のため案内状を製作するとともに、感染を懸念し来場出来ない顧客のために画を作成し HP や SNS などを使い公開する。また絵葉書やカレンダーなどを製作し会場で販売し利益を得る。更に作品集をマスメディア並びに顧客に送付し作品展の PR に努める。ワークショップは人数の制限、什器や道具の消毒など感染対策を行った上で進める

申請した経費の説明と金額 =

教室関係感染予防対策一式

個展開催諸経費

動画作成および配信のためパソコンとその周辺機器

等、以上総額 270289 円

結果詳細 = 200,000 円

ケース 24

分野 = 美術

申請した補助形態 = A-①

申請事業の名称 = 「人間と動物との関係」を主題にした映像作品のためのリサーチ、準備費用

申請事業の目的と活動内容 =

20〇〇年より「人間と動物との関係」を主題にした映像作品を国内外で制作し、美術館などで発表してきましたが、今後も継続して、同じ主題を追求した作品を制作するためのリサーチをします。新型コロナウイルス感染症拡大により、これまでのような対面形式のリサーチを行うのは当面のあいだは難しいため、オンラインによる研究者、有識者へのビデオインタビューを行うなどして、新たな制作方法に挑戦します。動物由来のウィルスの世界的流行により、継続してきた同主題に新たな意味や価値を再考できる機会だと考えています。

申請した経費の説明と金額 =

ICT の取り組みとして使うパソコン購入費用(9 万 9 千円)、パソコン用のケーブル備品、ハードディスクなど(2 万 4 千円)、三脚(3 万円)、スピーカー(4 万円)、書籍などの資料(4 万円)、人との接触を避けたロケハンの為の旅費(3 万円)

対面形式での接触を避けるため、主題と関わりのある研究者、有識者に対して行うオンラインによるビデオインタビュー費用(3 万 6 千円：調査謝金 12,000 円×3 者分)

結果詳細 = 申請に同じ

ケース 25

分野 = 美術

申請した補助形態 = A-①

申請事業の名称 = 美術館、ギャラリーの新型ウイルスによる自粛とその後の制作と発表

申請事業の目的と活動内容 =

新型コロナウイルスの影響 2020 年 11 月 T 美術館の私を含む企画展が 1 年延期にになり、2021 年 5 月個展の作品制作含めて制作予定に係る予算、材料など大幅に狂い困っている。その改善と取り組み。

申請した経費の説明と金額 =

「活動の目的と内容」により、鑿彫刻刀・材料 103608 円。金属作品制作に係わる燃料費（ガス当）80000 円×2 = 160000 円。産業停滞の損失の展示会に向けての回復費用。

結果詳細 = 申請と同じ

ケース 26

分野 = 美術

申請した補助形態 = A-①

申請事業の名称 = コロナ後に向けた技術向上

申請事業の目的と活動内容 =

さらなる技術向上のため、無観客ミニ個展を開催する。その様子をインターネット上で自撮り公開するとともに、絵と音楽のコラボアートフィルム作品を制作（撮影編集委託）、動画サイト等インターネット上に P R 公開する。と同時に、記念作品集にまとめる。

申請した経費の説明と金額 =

作品制作のための消耗品（画材 30,000 円・額装費 20,000 円・案内チラシ DM 制作費 10,000 円・記念作品集印刷費 40,000 円）。ミニ個展 P R アートフィルム作品動画制作配信のための展示撮影会場費（20,000 円）、作品搬入搬出費（5,000 円）、音楽家 2 名謝礼（44,800 円）、映像制作者へ撮影編集委託費（90,000 円）。紫外線除菌具（UV Sanitizing Pen）と非接触型体温計の購入費（20,000 円）。

結果詳細 = 200,000 円

ケース 27

分野 = 美術

申請した補助形態 = A-①

申請事業の名称 = 感染症拡大の影響下における制作方法の検討と技術向上による芸術活動の継続

申請事業の目的と活動内容 =

2020年2月26日より本格的に始まった自粛期間中に、以前より行っている芸術活動をより充実させたものとするために新たな制作方法の検討と技術向上を目指す。具体的には、デジタルネガ制作とフィルム映像制作の技術を習得し美術作品制作を行う。それぞれの技術向上のため、講座参加やプリンティングアトリエへの制作協力依頼、撮影や現像に必要な材料の購入を行う。活動は可能な限りインターネットを活用し、自身の制作スタジオには感染症対策のための消毒液などを設置する。また事業実施期間中はマスクを着用する。

申請した経費の説明と金額 =

技術向上のため、講座に参加（1万3千円）。講座に必要な材料を購入（2万円）。試印刷（1万円）。美術作品制作のため、デジタルカメラ周辺機器（3万円）、資料（2万円）を購入。現像・印刷（8万円）、機材をレンタル（1万円）。

技術向上のため、オンライン講座に参加（1万円）。必要なPC周辺機器（5千円）を購入。感染防止に配慮した美術作品制作のため、ミーティングをオンラインに切り換えて現像・印刷の一部（4万円）を行う。材料（2万円）を購入。

感染症対策のための消毒液やマスクを購入（1万円）。

補助対象経費合計

268,000円

補助金申請額

200,000円

結果詳細 = 申請と同じ

ケース 28

分野 = 美術

申請した補助形態 = A-①

申請事業の名称 = 2020年度後期および2021年度展覧会開催へ向けた準備、制作および技術向上

申請事業の目的と活動内容 =

2020年度後期および2021年度開催予定の展覧会へ向けた準備、継続的な作品制作を行う。技術やクオリティの向上を目指し、素材や資料の研究を行う。また展覧会会場に限らずオンライン上でも作品を発表できるよう写真や動画の撮影を行い、国内だけに限らず海外へも積極的にPRを行う。さらに展覧会会場における新型コロナウイルス感染拡大予防対策のためのマニュアルを作成し実践する。

申請した経費の説明と金額 =

写真・動画撮影用のデジタルカメラ、レンズ、メモリーの購入（10万円）、図録デザイン委託（3万円）、図録冊子の印刷費（3万円）

作品制作のための材料一式（10万円）、技術向上のための研究素材や資料の購入（1万円）、オンライン上での作品PR用HPの開設とドメイン取得（1万円）、コロナウイルス感染防止対策ガイドライン制作費（5000円）、消毒その他感染防止対策品（1万円）

結果詳細 = 申請と同じ

ケース 29

分野 = 美術

申請した補助形態 = A-①

申請事業の名称 = コロナ後に向けた、発展的芸術活動

申請事業の目的と活動内容 =

毎年開催していた個展を延期し、コロナ終息後の来年の個展に向けて、大作を制作する事に致しました。また、iPad を購入し、ホームページのリニューアルと作品のインターネット販売システムを整えていく事に致しました。

申請した経費の説明と金額 = ホームページのリニューアルと作品のネット場での販売システムを整える為に、iPad65,000 円を購入。来年の個展に向けて大作を制作の為に、画材 (消耗品)5 万円を購入。自宅では大きな作品を制作できないので、アトリエをレンタル (借損料) 20 万円。アトリエへ通う為とスケッチ等の為の交通費(旅費) 4 万円。詳細を別紙で添付しました。

結果詳細 = 申請額どおり。A-2 なので 20 万円。